

# 新型コロナウイルス感染症 感染発生時対応マニュアル

社会福祉法人  
若竹大寿会  
法人感染対策委員会

2023年2月20日発行  
2023年5月31日改訂

# 目次

- 初動から収束までの流れ
- 検査の考え方
- 治療の考え方
- 感染者への対応
- ゾーニング方法
- ゴミ・リネンの取り扱い
- 食器の取り扱い
- 個人防護服について
- 換気方法
- レッドゾーン内での職員の小休憩
- レッドゾーンでのN95マスクの運用について
- レッドゾーンでのフェイスシールドの運用について
- 参考資料
- 参考文献

# 新型コロナウイルス感染症発生時 対応の方向性

## 重症化予防＝職員を守る≧ADLを落とさない



# 初動から終息までのポイント



## 初動の対応

- ① 職員自身を守るためのN95マスクとアイプロテクション着用
- ② 有症状の発見・検査・早期治療
- ③ 個室対応、フロア対応開始
- ③ 他ユニット・フロアへ拡げない

## 感染拡大時期のポイント

- ① 他ユニット、フロアへ拡げない
- ② 重症者の早期発見
- ③ 有症状の発見・検査・早期治療
- ④ 職員が罹患しない
- ⑤ 必要時は感染対策の見直し

# 検査の考え方

①有症状者への抗原検査の実施

② ①以外の検査は基本的には不要  
ただし、保健所・かかりつけ医・本部から  
指示がある場合には従う

# 治療の考え方

- かかりつけ医と相談し、薬剤を検討する
- 重症化した場合、救急搬送する



# 感染者への対応

## 感染者は個室へ避難

- できる限り個室にいてもらうようにする
  - ※バリケードなどを使用した個室隔離は行わない
- 感染確定している人のみ個室対応とする
  - ※レッドのレッドは不要



### <理由>

- 感染を全くゼロにすることは不可能
- 1名感染者の発見=複数名の感染者
- 職員の負担軽減

# ゾーニング方法

# ゾーニングの考え方

空気・環境に  
新型コロナウイルスが存在



空気には存在しないが  
環境には  
新型コロナウイルスが存在



空気・環境に  
新型コロナウイルスが存在しない



# 明確なゾーニングとは

テープで色分け

- ・赤：レッドゾーン
- ・黄：イエローゾーン
- ・緑：グリーンゾーン



物で区切りをつける



# ゾーニングの方法～広範囲で見たとき～

レッドゾーンはケア単位とする

※ケア単位とは

ユニット型：隣接するユニットで同一職員の行き来があるユニット

従来型：同一フロアでかつ、同一職員の行き来がある範囲

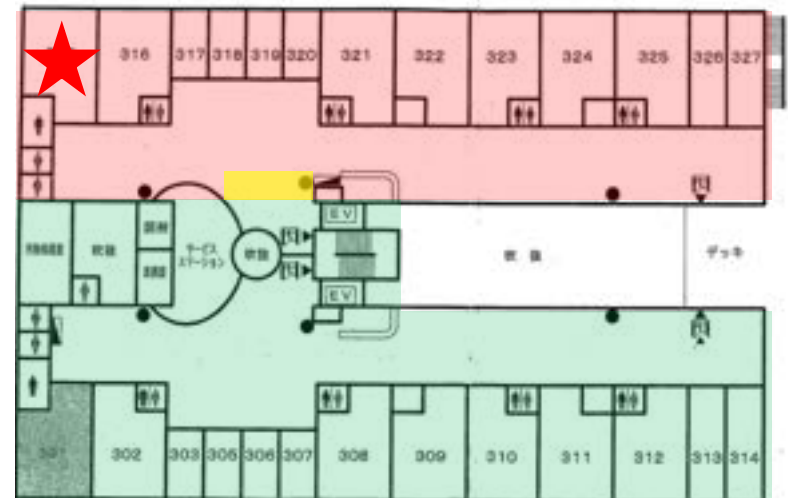
## 【レッドゾーンの例】

★：感染者

<ユニット型(例)>



<従来型(例)>



# ゾーニングの方法～多床室での食事やケアでの注意点～

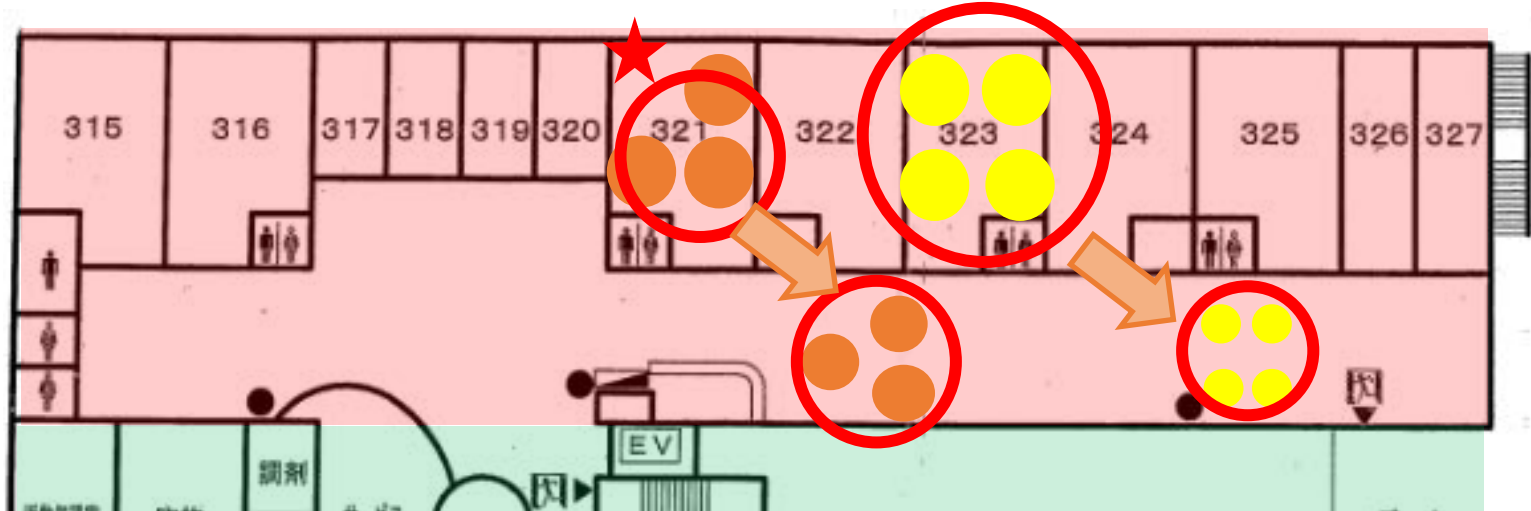
## <基本方針>

- ご利用者様1人の感染が確認された場合、フロア全体に感染していると考える
- 健康観察に重点を置き、有症状者の早期発見、早期治療による重症化予防
- 感染者はカーテン隔離、同室者の行動制限は実施しない

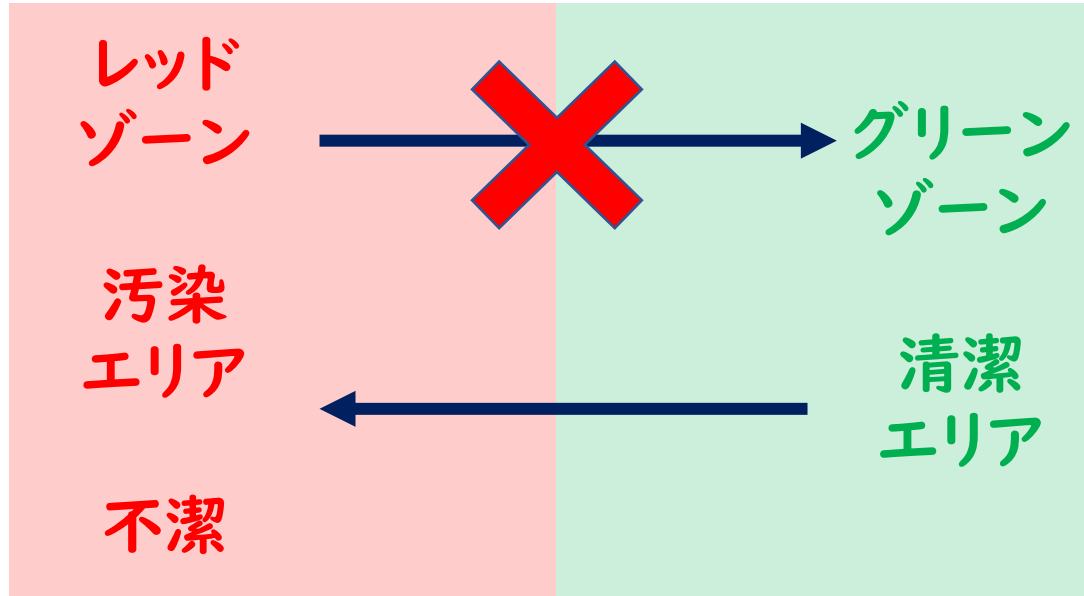
## <チェックポイント>

- 感染者はカーテン隔離
  - 居室単位(赤丸)で食事席を設ける
  - 居室単位でケア・レクなどを行う
- 上記は施設の構造により調整可

## <イメージ図>



# ゾーニングにおける物の流れ



【レッドゾーンからグリーンゾーンが許容されるもの】

**医療器材**

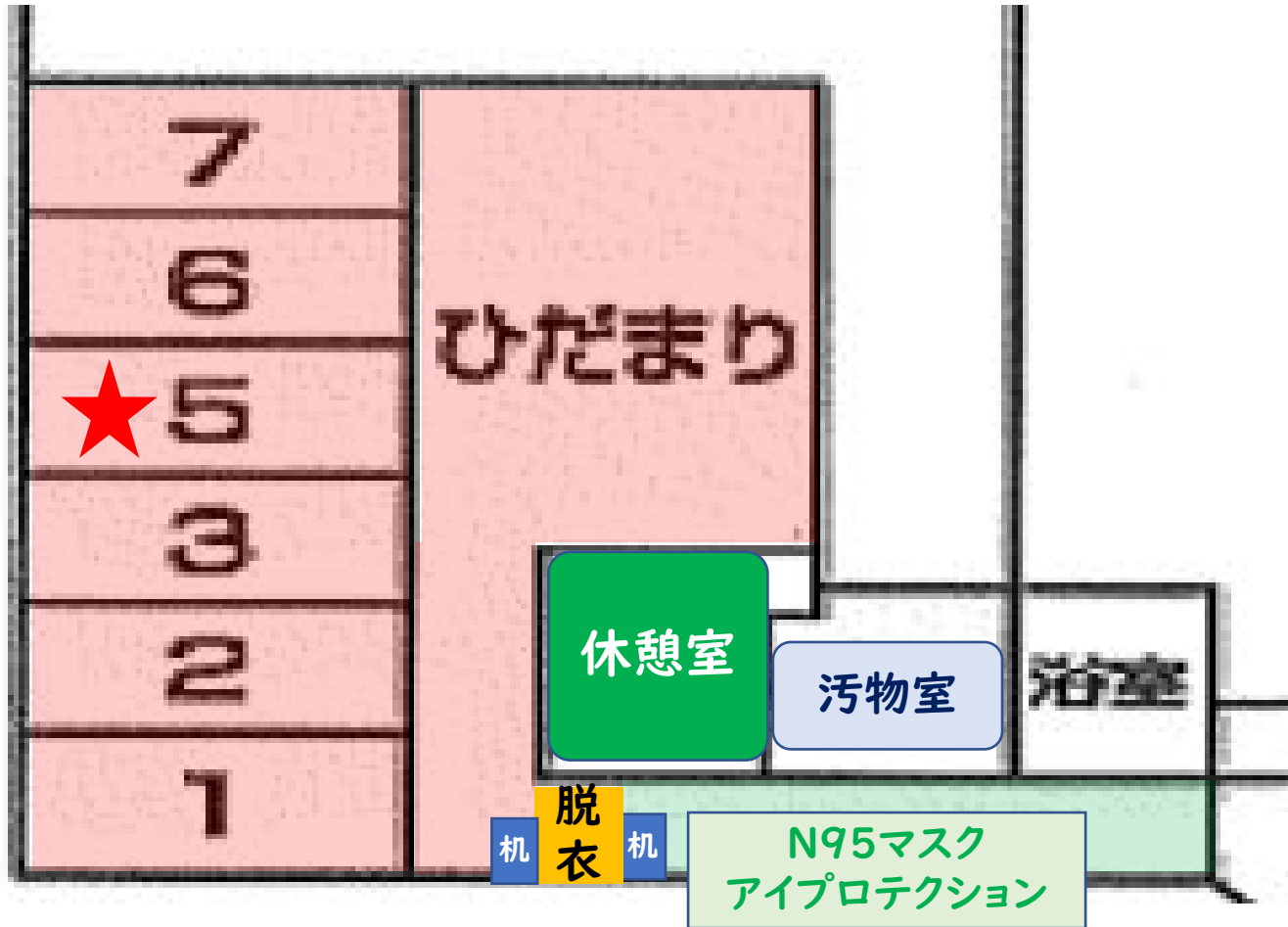
※持ち出す際には必ず消毒すること

**食器・食器トレイ・食札・配膳車**

※消毒は不要



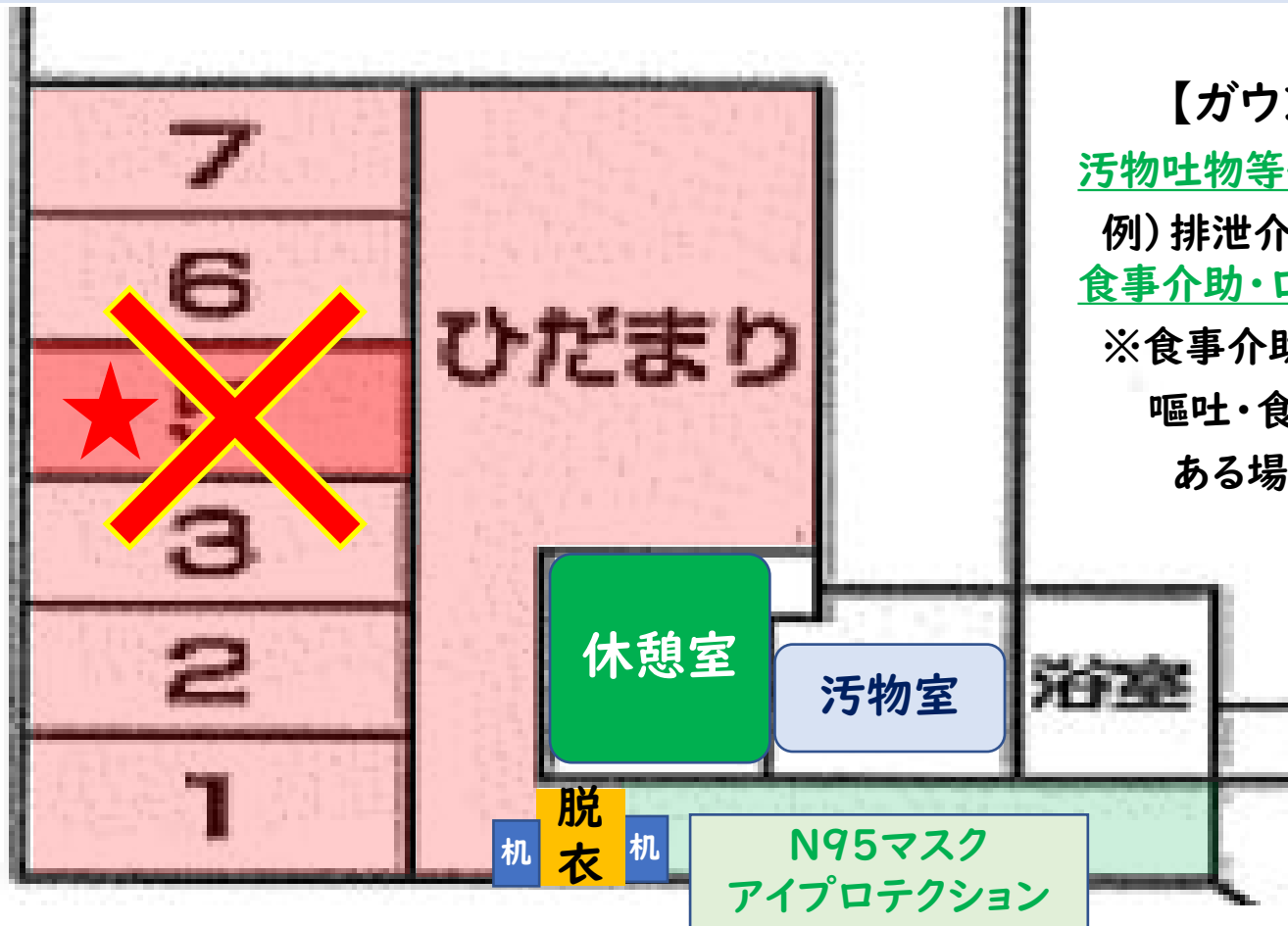
# ゾーニングの方法～詳細～



# ゾーニングの方法～これは不要～

レッドのレッドは不要です。

感染者であっても、通常、N95マスク・アイプロテクションのみで可能  
ただし、「日々の感染対策のマニュアル」に基づき、ガウンや手袋を着用する



## 【ガウン・手袋着用場面】

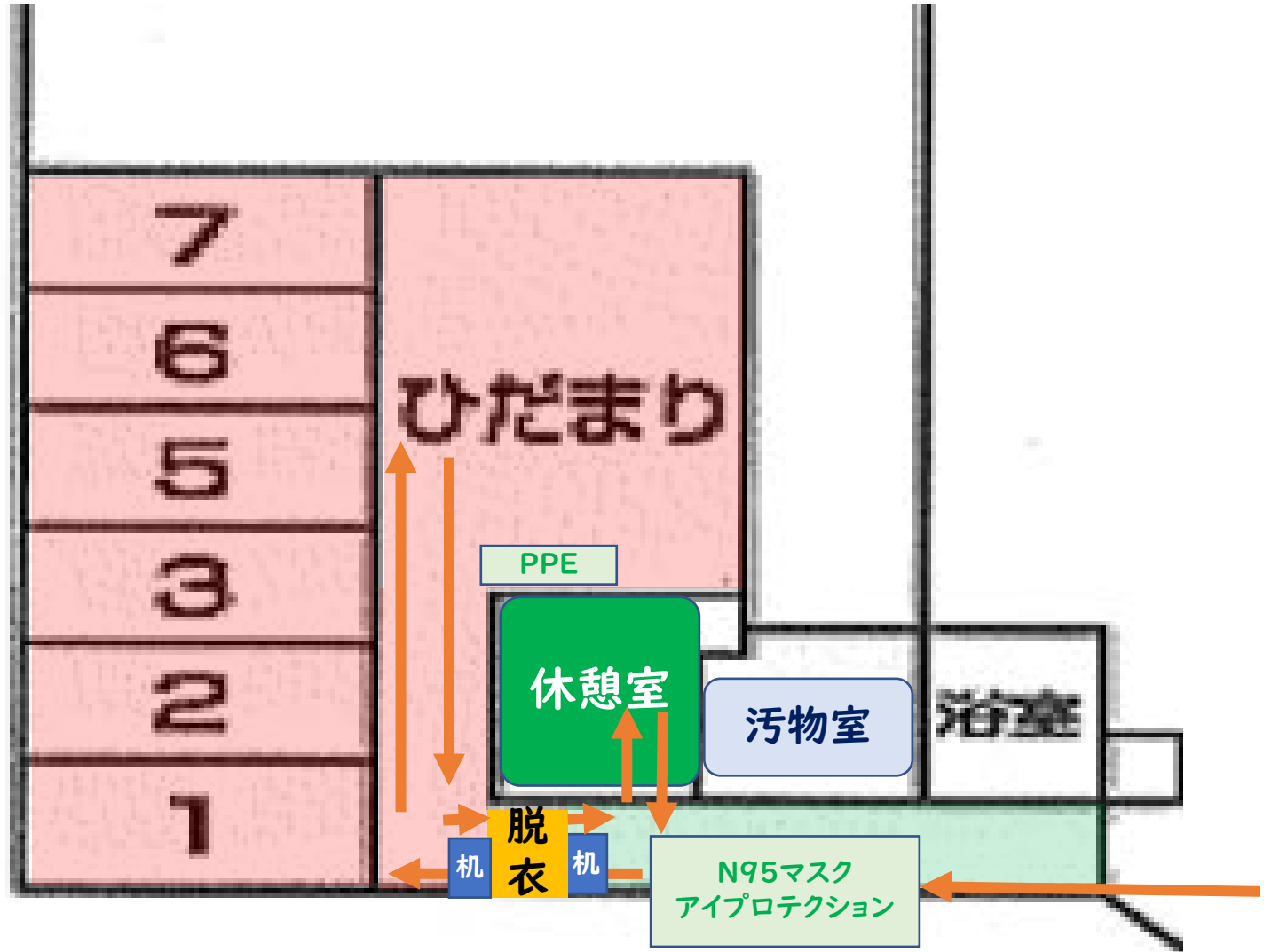
汚物吐物等体液を扱うケア

例) 排泄介助・嘔吐処理 等

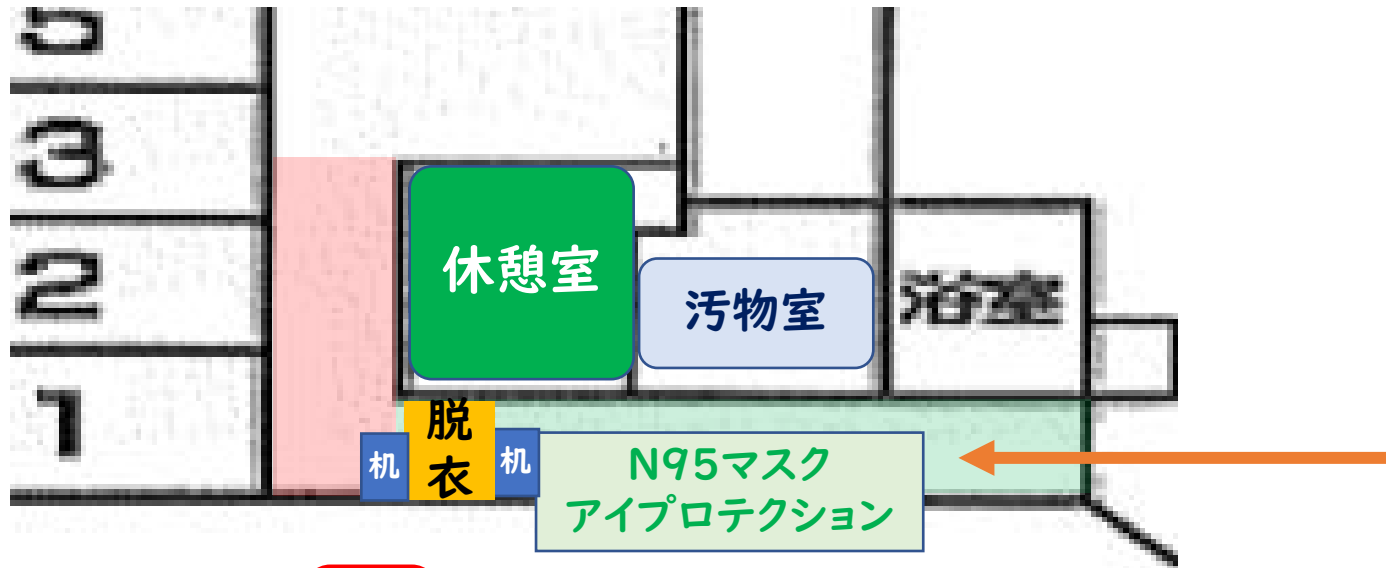
食事介助・口腔ケア・吸引

※食事介助時の③、④は利用者が嘔吐・食べ物を吐出す可能性がある場合に、使用する

# 人の動線



# N95・アイプロテクションの着用



# N95マスク・アイプロテクションの脱衣



# 個人防護服について

# 個人防護服について

感染者が発生しているユニット・ブロック(レッドゾーン)での個人防護服

## 基本



N95マスク

## ご利用者様と接する場合



アイプロテクション  
(ゴーグルorフェイスシールド)

## ケアに応じた 個人防護服の着用



袖なしor袖あり  
ガウン



手袋

# ごみ・リネンの取り扱い





# ごみの処理・リネン類の持ち出し方法

ゴミ捨て場

外

清潔なおムツ等

レッドゾーン

イエロー  
ゾーン

机

P  
P  
E

机

脱衣

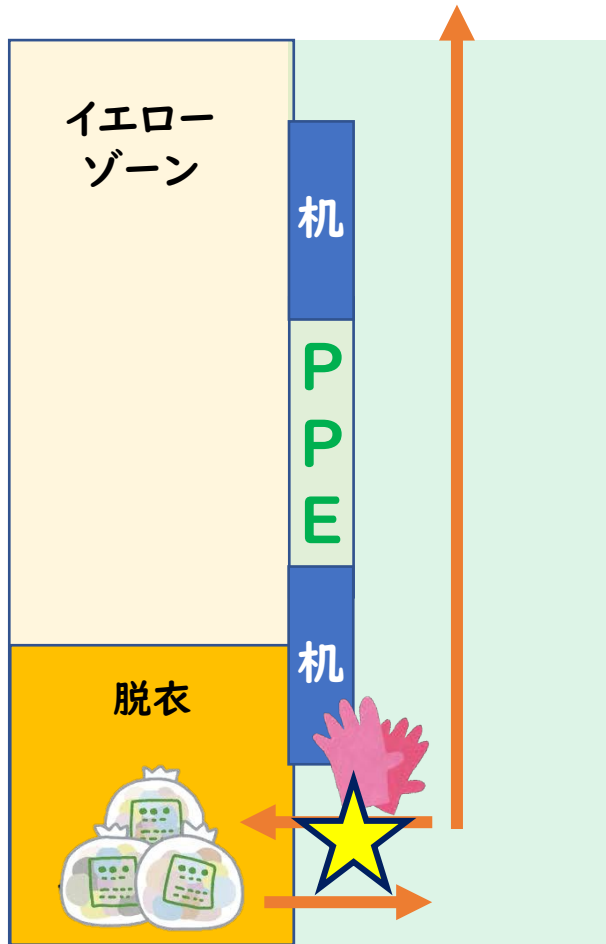
ゴミ



事前に  
業者に感染性の廃棄物や  
リネン類の処理方法を確認しておく

# ごみの処理・リネン類の持ち出し方法

グリーンゾーンから出す際



# 食器の取り扱い



# 食器の取り扱い

食器用洗剤の洗浄のみで可



以下は不要です

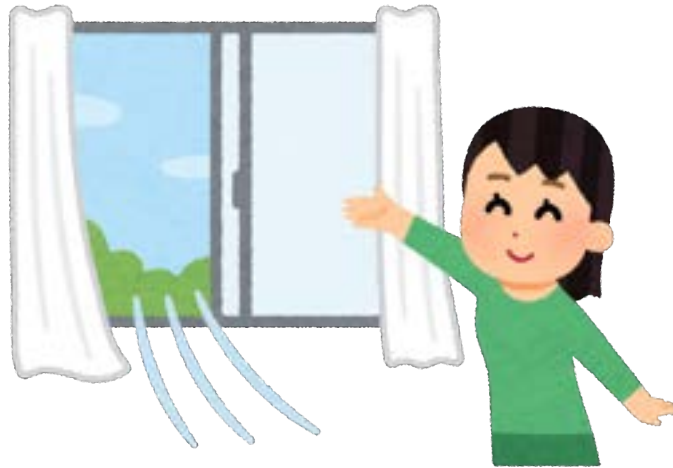


消毒



使い捨て食器

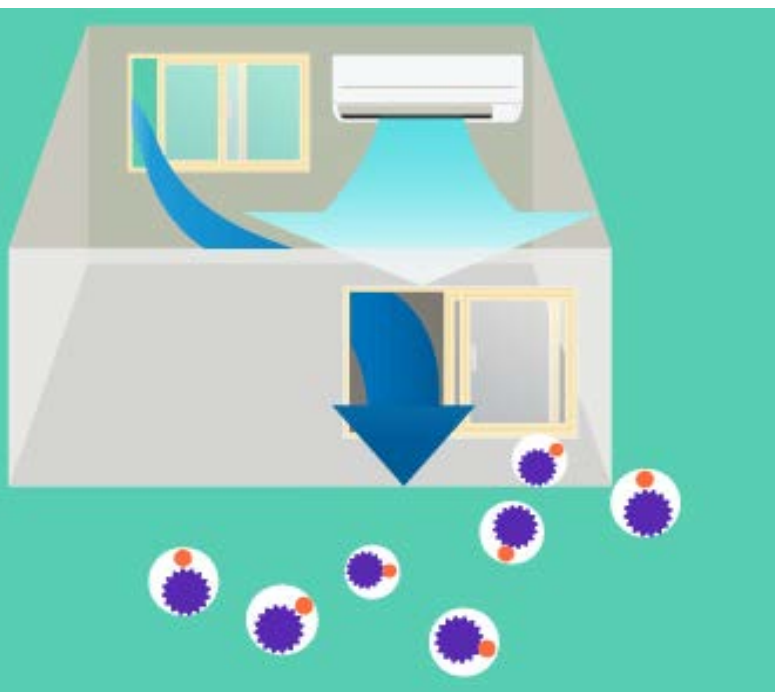
# 換氣方法



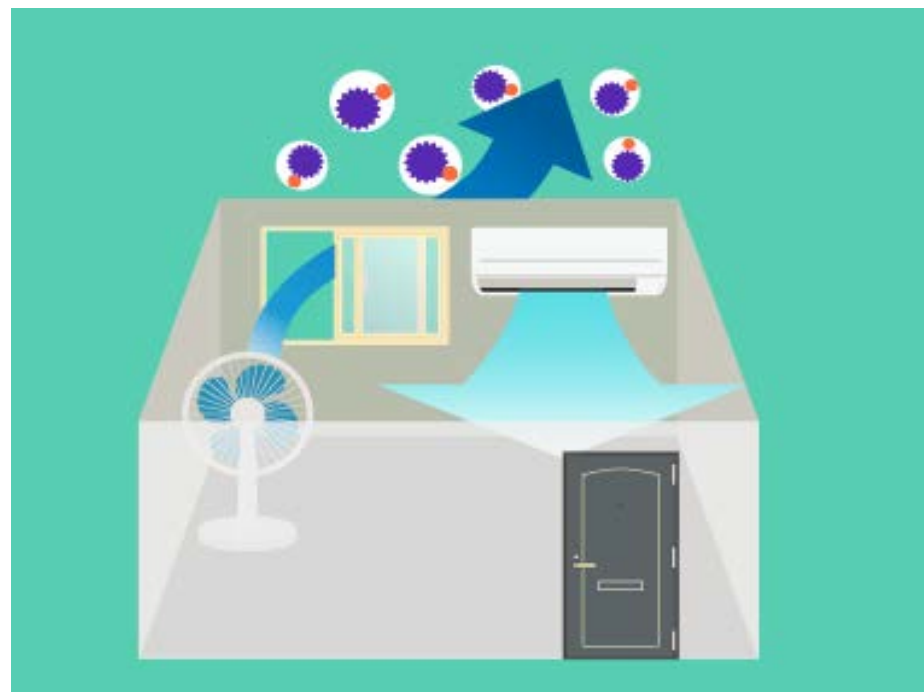
# 換気方法

24時間機械換気  
必須!!!

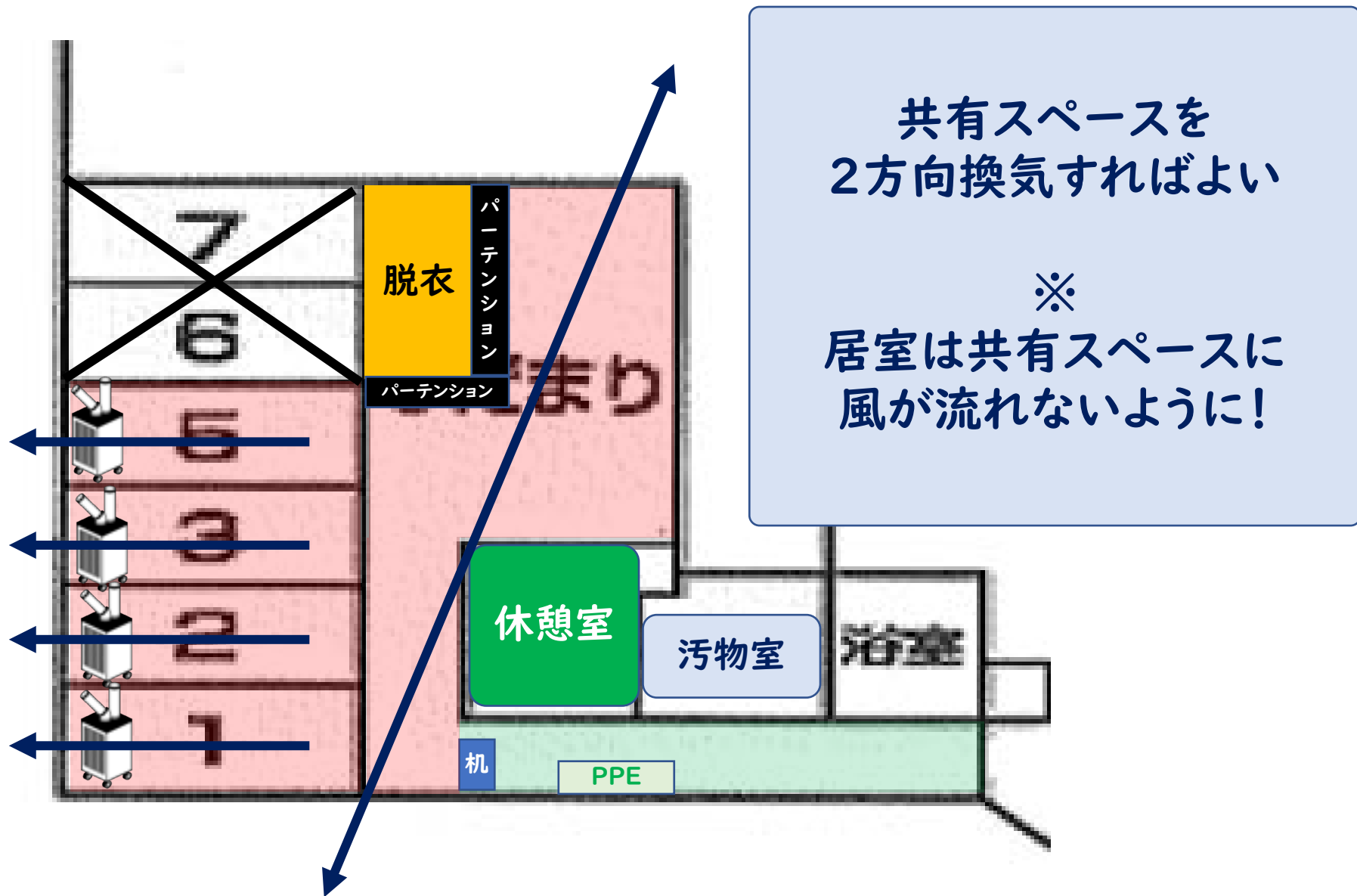
窓が2か所ある場合、  
対角線上に窓を開ける



窓が一つしかない場合  
部屋の窓を開けて、  
扇風機などを窓の外に向けて設置



# 換気方法



# レッドゾーン内での 職員の小休憩





# レッドゾーン内での職員の小休憩

- 休憩場所を決める
- 休憩場所では一時的にN95マスクを外して、水分摂取や個包装の食べ物は可能
- ただし、N95マスクを外し、飲水・簡易な食事をする場合には、手指衛生を行うこと
- N95マスクを脱衣する場合には、マスク表面に触れず、ゴム紐のみを掴み脱衣する
- 再度、N95マスクを着用する際には、必ず、シールチェックを行う

# レッドゾーンでの N95マスクの運用について

# 施設でのN95マスクの運用方法

- レッドゾーン内では、N95マスクを必ず着用する
- N95マスク着用時は、必ずシールチェックを実施する
- N95マスクは1人につき、1日1枚使用する
- グリーンゾーンにて紙袋でN95マスクを保存、袋にはサインペンで名前を記載  
※グリーンゾーンでは新しい不織布マスクを着用
- 勤務終了時に、N95マスクと紙袋を破棄する

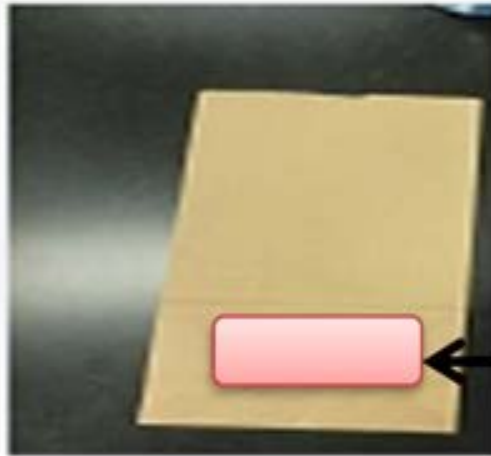
## 【N95マスク保管例】



紙袋にN95マスクを保管、  
勤務終了時には破棄する。

# 施設でのN95マスクの運用方法

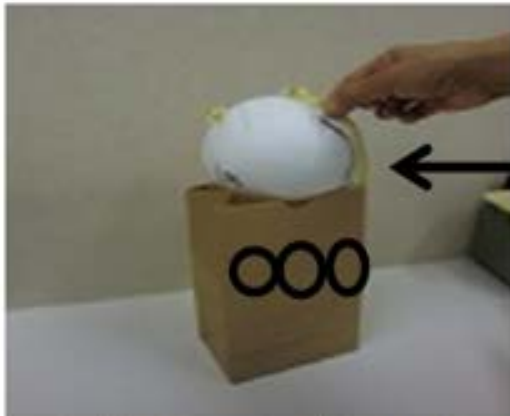
- 1) 紙袋を準備し、紙袋に氏名を記載する。



\* N95 マスクに直接氏名を記載するとフィルターが破綻するので直接書かないこと。

紙袋へ氏名を記載する。

- 2) マスクの前面に触れずに袋に入れる。



マスクの前面には触れず、ゴムを持ち紙袋へ入れる。  
紙袋の口を折り保管する。

- 3) 保管場所を確保し袋のまま保管する。

# N95の種類

型	図説	図
カップ型	既に形状が決まっているため型崩れしにくいのが特長です。	
二面折りたたみ式	顔を動かしても中央のエンボス加工が型崩れを防ぎ、高いフィット性を保ちます。 縦型と横型の2つのタイプがあります。 (右図は横型タイプ)	
三面折りたたみ式	上部・中央部・下部の3つのパネルで構成されており、やさしくあごを包み顔の動きに追従する柔軟性をもつフィット性の高い構造をしています。	

# N95の着用方法(カップ型)



- ① マスクの鼻あてを指のほうにして、ゴムバンドが下にたれるように、カップ状に持ちます。



- ② 鼻あてを上にしてマスクがあごを包むようにかぶせます。



- ③ 上側のゴムバンドを頭頂部近くにかけます。



- ④ 下側のゴムバンドを首の後ろにかけます。



- ⑤ 両手で鼻あてを押さえながら、指先で押さえつけるようにして鼻あてを鼻の形に合わせます。



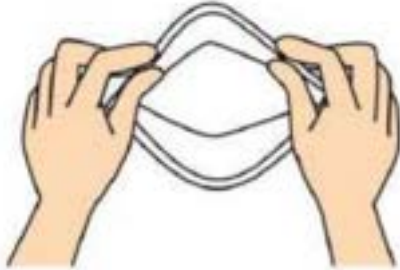
- ⑥ 両手でマスク全体をおおい、息を強く出し空気が漏れていないかユーザーシールチェックを行います。



# N95の着用方法（3面折りたたみ式）



① マスクの上下を確認し、広げます。ノーズワイヤにゆるやかなカーブをつけます。



② 鼻とあごを覆います



③ マスクを押さえながら上ゴムバンドを頭頂部へ、下ゴムバンドを首まわりにつけます。



④ マスクを上下に広げ、鼻とあごを確実に覆います。



⑤ 両手の指で鼻あてが鼻に密着するように軽く押します。

○ポイント：  
ノーズワイヤが鋭角になると頂点にすきまができてしまうため、注意。



⑥ 両手でマスクを覆い、空気漏れをチェックして密着のよい位置にマスクを合わせます。

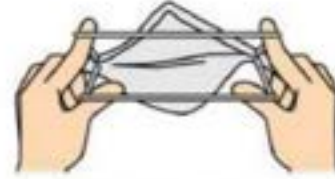
# N95の着用方法（2面折りたたみ式）



- ① マスクを上下に下げ、ノーズワイヤーにゆるいカーブをつけます。



- ② マスクを上に掲げ、ゴムバンドをたらしめます。



- ③ 人差し指と親指で2本のゴムバンドを分けます。



- ④ ゴムバンドを指で把持しながら、顎の下にマスクを当てます。



- ① ゴムバンドを引き上げ、頭頂部と首の後ろにバンドをかけます。



- ② 2本のゴムの角度は90度になるようにします。



- ③ ノーズワイヤーを指で押し当て、鼻の形に合わせる。



- ④ ユーザーシールチェックを行い、フィットを確認します。



レッドゾーンに入る前には  
シールチェックは絶対!!!

# N95の着用後の確認事項

マスクと顔の密着性を確認するために、装着時には必ずユーザーシールチェックを行きましょう。

マスクが十分開いているか、鼻当てがきちんと密着しているかを確認し、手を当てて息を吸ったり吐いたりして隙間がないかチェックします。脇や鼻周辺から息の漏れがあれば、もう一度ゴムバンドや鼻当てを調整して、シールチェックをやり直してください。



シールチェック方法の動画です！  
レッドゾーンに入る前に必ず確認！  
25秒～2分50秒までを参照



# N95の着用後の確認事項



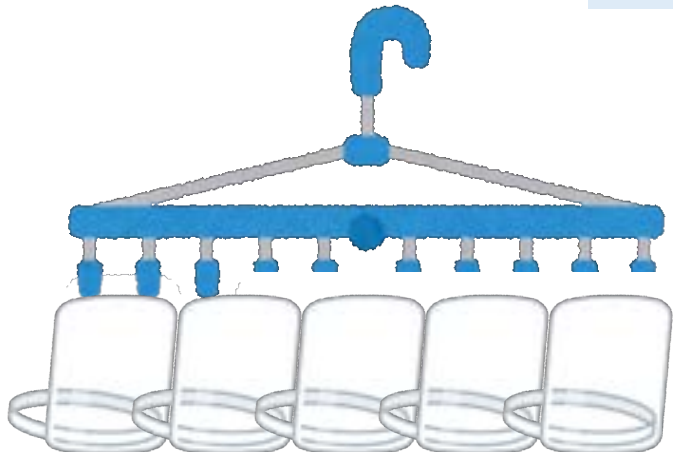
【漏れやすい場所】  
鼻・顎の周辺

# レッドゾーンでの アイプロテクションの 運用について

# レッドゾーン内でのアイプロテクションの運用方法

- ご利用者様と接する場面では、必ずアイプロテクションを着用する（飛沫予防）
- アイプロテクションを準備してる場所にてアイプロテクションに自身のであることが分かるように名前や目印などを記載する
- ご利用者様との関わりが終了したら、表面と裏面をアルコール消毒し、施設で定めた方法にて保管する
- 勤務終了時のレッドゾーンを出る際に、イエローゾーンでフェイスシールドを破棄する
- フェイスシールドは1人につき、1日1枚使用とする
- ゴーグルは使用期限は設けない

## 【アイプロテクション保管例】



ピンチハンガーにかける



机に置く

**業務継続について**

# 業務継続について(例)

	発生エリア(例)	発生エリア	発生外エリア(例)	発生外エリア
レク	継続		継続	
機能訓練	中止		継続	
清掃	縮小		継続	
洗濯	変更		継続	
シーツ交換	継続		継続	
衣類交換	中止		継続	
入浴	縮小		継続	
排泄	変更		継続	
食事介助	継続		継続	
オーラルケア	中止		継続	
ショートステイ	中止		継続	
面会	中止		継続	

管理者チェックリストに業務継続の指針を記載する  
QRコード👉



# 業者へ打診中のこと

## ごみ

レッドゾーンのゴミを  
普通ゴミで破棄できるような業者を打診中

## 清掃業者

レッドゾーン内の清掃をできる業者を打診中  
感染部屋以外は対応できない  
横浜ビルシステムズ

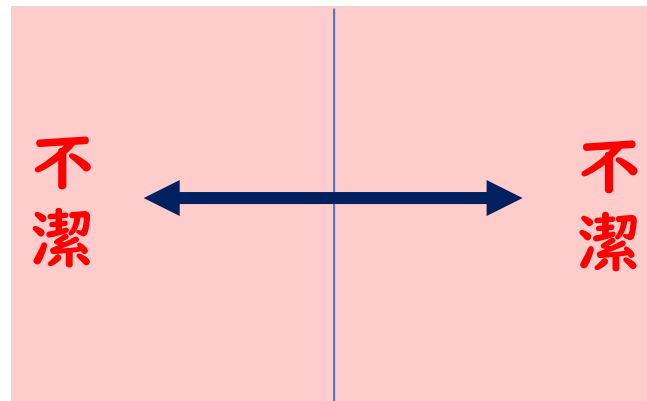
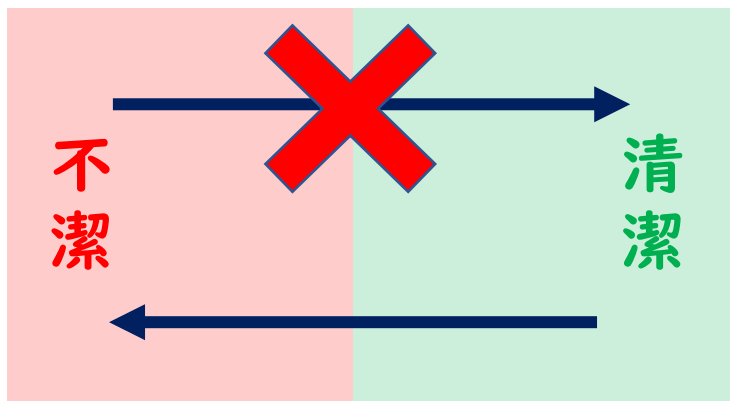


# 參考資料

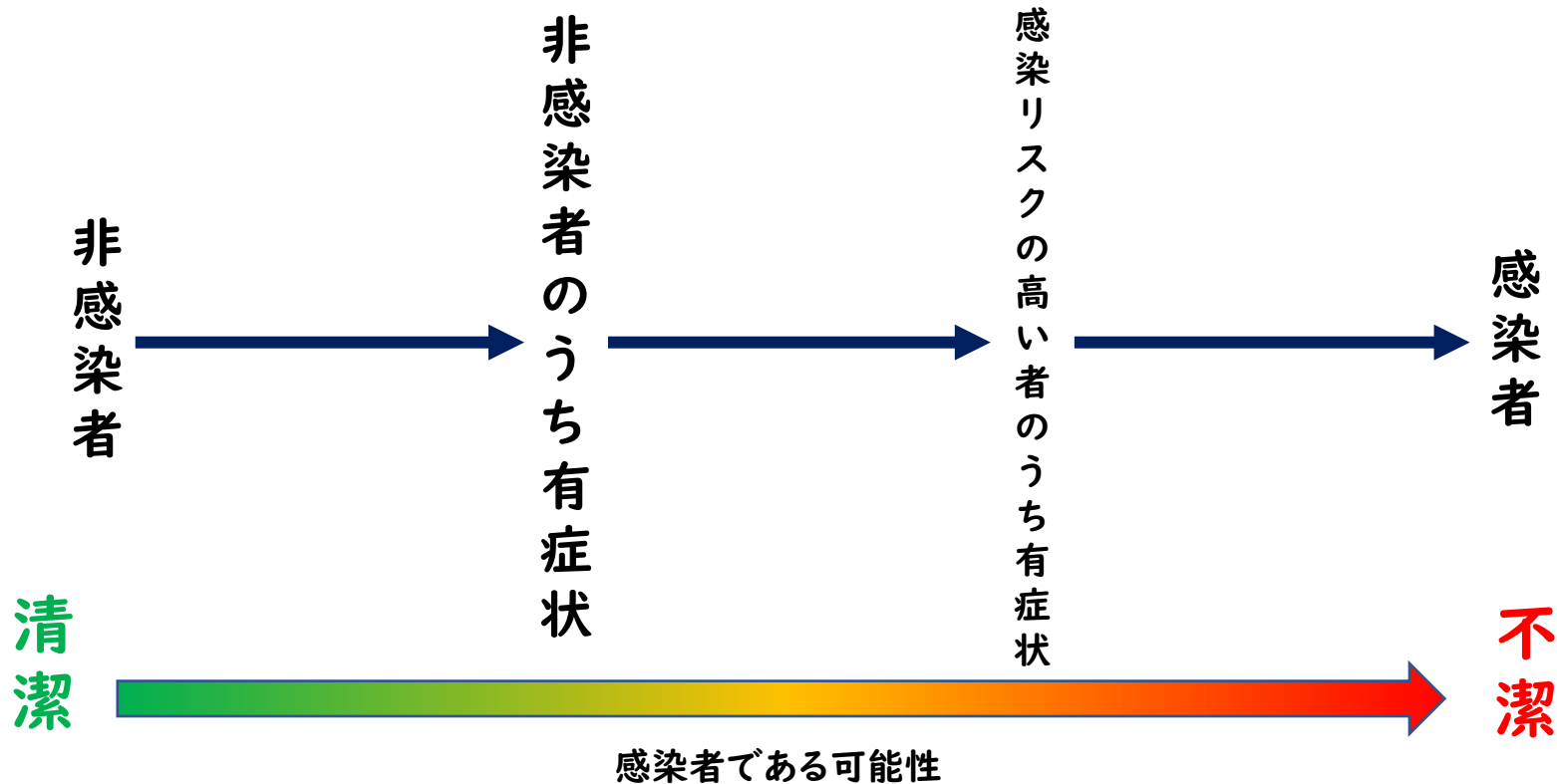


# ケアの原則

物の移動・やり取り



ケアの順番





# 参考文献

- ・厚生労働省老健局「介護現場における（施設系 通所系 訪問系サービスなど）感染対策の手引き」令和3年3月
- ・横浜市健康福祉局「新型コロナウイルス感染症の予防方法・消毒方法」令和2年4月24日
- ・厚生労働省「～商業施設等の管理権限者の皆様へ～「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法」令和2年4月3日
- ・厚生労働省「～換気機能のない冷暖房設備を使っている商業施設等の皆様へ～熱中症に留意した「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法」令和2年6月24日
- ・厚生労働省「～商業施設等の管理権限者の皆様へ～冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法」令和2年11月27日
- ・庄司 眞「季節とインフルエンザの流行」J.Natl.Inst.Public.Health,48(4)1999 P282~P290
- ・厚生労働省「高齢者介護施設における感染症マニュアル改定版」2019年3月
- ・吐物処理手順 大分県中部保健所 令和元年11月
- ・東北感染症危機管理ネットワーク ゾーニングについて  
[http://www.tohoku-icnet.ac/covid-19/mhlw-wg/images/division/medical\\_institution/d01\\_pdf03.pdf](http://www.tohoku-icnet.ac/covid-19/mhlw-wg/images/division/medical_institution/d01_pdf03.pdf)
- ・2021年度 青森県看護協会開催 介護施設で働く看護・介護職のための感染管理スキルアップセミナー 2021年10月25日 「ゾーニングの考え方」弘前大学医部附属病院 感染管理認定看護師 尾崎浩美
- ・介護現場における（施設系 通所系 訪問系サービスなど）感染対応の手引き 第2版 厚生労働省老健局 令和3年3月  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf>
- ・新型コロナウイルス感染症対策 医療機関向けガイドライン 公益社団法人 日本医師会 令和3年12月改定  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00111.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00111.html)
- ・オミクロン株感染蔓延期における「濃厚接触者」に関する作戦転換第73回（令和4年2月24日）新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000901902.pdf>
- ・SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統（オミクロン株）の発症間隔の推定：暫定報告国立環境研究所 2022年1月31日
- ・厚労省の施設内療養に関する通知 2023年4月18日  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000783412.pdf>